

# 一般質問発言通告書

発言順位 3番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年6月10日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 15番 高田 康子

## 質問事項1 プレコンセプションケア推進と若者支援に関する取り組みについて

具体的な内容 近年、少子化の深刻化が三島市だけでなく国や他市町で大きな課題となっております。その背景には、経済的不安定さや結婚・出産への価値観の多様化など、さまざまな要因がございますが、「妊娠・出産」に対する知識不足や、若年層における性と健康に関する正しい理解の欠如も、大きな要素の一つと指摘されております。

今年、4月2日、こども家庭庁にて「第4回プレコンセプションケアの提供のあり方に関する検討会～性と健康に関する正しい知識の普及に向けて～」が開催され、プレコンセプションケア推進5か年計画が示されました。

- 過去数年からの三島市の出生数の現状と分析、婚姻数はどのようにになっているか。
- 若いうちから必要なプレコンセプションケアの形成ですが、小中学校における性教育の中で、出産・妊娠を含む将来のライフプランや、自己肯定感を育む内容がどのように位置づけられているのか。
- 庁舎や学校、医療機関、公共施設などに、「妊娠したかも？困ったときはここに相談を」といった案内掲示板やポスターを設置したり、相談もLINEやチャットといった若者が使いやすい手段の導入やNPO等と連携したアウトリーチ型支援の強化についても検討の余地はあるか。
- 性別を問わず、適切な時期に性や健康に関し、妊娠出産を含む将来のライフデザインについて正しい知識を具体的にどのように伝えていくのか、若者のライフデザイン支援を推進する施策について今後の方針と、このような取り組みを当市はどのように考えているのか、その成果はどのようにになるのか。
- プレコンセプションケア推進5か年計画のような中長期的な計画策定について、具体的にいつまでに、どのような計画に載せていくのか。

## 質問事項2 人生100年時代を全うするまでウェルビーイングな時を過ごす取り組み

具体的な内容 人生100年時代と言われていますが、誰もが健康で100歳まで生きられることは理想ですが、現実は身体の衰えや孤独を抱えている高齢者が多くいらっしゃいます。現代、核家族化が進み、独居の高齢の方々にとって、テレビの前に一日中座り、気が付けば誰とも会話をしていないような孤独感「誰かとの繋がり」が失われがちで、高齢者の孤独や社会的孤立が深刻な課題でもあります。

- 市内における独居高齢者の現状について把握されているデータや実績、独居高齢者の人数やその方々が抱える主な課題についての把握はされているのか。
- 「お茶飲み友達マッチング事業」や「高齢者向けパートナーシップ制度」「縁繋ぎバス研修」など、心の豊かさや、生きていることの楽しみが健康寿命を増やす意味でも、人との繋がりをはぐくむ仕組み作りを検討する、もしくは後押ししたり、試験的にでも導入してみる可能性はあるか。
- パートナーシップ制（法的に家族でなくても）により、終末期医療や看取りに関する意思表示など、その意思を尊重できる制度の整備を構築するため、地域包括支援センターや成年後見制度と連携した新たな枠組みの創設を検討することは可能か。